

主な御意見による素案からの修正内容

No	御意見の要旨	修正	
		ページ	内容
1	主要指標に経営耕地面積が掲げているが、農村集落を支える方々などを含めた耕地面積の方が適当ではないか。	P5	耕地面積を指標として用いることで修正いたしました。
2	地域計画について、農水省はブラッシュアップという言葉を使っているの、用いることを検討してはどうか。	P28	今後の取組の必要性に係る内容において「ブラッシュアップ」を追記し、表現を見直しました。
3	プロジェクト指標の「測定の目的」の「新たな産地による承継体制」は表現を修正してはどうか。	P47	「産地による新たな承継体制」と表現を修正し、意図を明確にいたしました。
4	キュウリの平均反収の増により労力不足となるため、収穫作業の省力化は力を入れていただきたい。	P49, 50	収穫作業を効率化させる技術等の開発・導入について表現を修正・明記いたしました。
5	鳥獣害の新技术の記載があるが、高齢化が進む中、地域では手に負えない状況。具体的な対策が必要。	P51, 52	重点取組の構成を修正するとともに、鳥獣害に関する取組を別立てで新設し対策を追記いたしました。 なお、第3編基本計画第2章3(1)①②にも記載のとおり、集落機能の維持・強化や中山間地域の所得向上などに向け、省力化や労働力の確保、新たな支援体制づくり等に取り組んでまいります。
6	家族農業で生活ができ、集落が存続できなければ宮崎の自然や文化が壊れるので、検討いただき、大きな柱を作っていただきたい。		
7	中山間地域では少子高齢化、過疎化、担い手・後継者不足が深刻化。儲かるのに離農する、後継者を作らない。集落協定の広域化、スマート農業推進が、いつまで持続に繋がるのか。一方で、後継者がいる小規模兼業農家もいるため、営農継続の手厚い支援をお願いしたい。		
8	事業承継支援の充実・強化の表現を図内の記載と整合させる必要があるのではないか。	P61	施策「事業承継支援の充実・強化」内にある表現を「マッチングから契約締結まで」修正いたしました。
9	持続性の高い農業を目指す県農政の計画としては、カーボンニュートラルというキーワードが必要ではないか。	P80	現状と施策の方向性について「カーボンニュートラル」を用いて表現を見直し、方向性を明確にいたしました。
10	米における担い手確保に向けた取組を追記してはどうか（他の主品目（露地野菜、花き、果樹）、肉用牛では記載あり）。	P82	「生産基盤の維持と有利販売の推進」において、地域水田農業の受け皿となっている経営体へのオペレーター育成や事業承継の支援を追記いたしました。